

【協力者プロフィール】

(山内課長以外の○がついている方、テーブル担当)

× 江部乙農産物加工研究会手づくりの家とまと (車窓見学)

代表 菊池 地域の生産物を使って食卓に潤いをもたらせようと、1988年に江部乙町内の農村女性がグループを結成したのがはじまり。1992年からは地域の特産品を原料にした加工品づくりプロジェクトに取り組み。1999年8月に、滝川市、JA たきかわ、空知東部農業改良普及センターなどの支援を受け、旬の素材と無添加にこだわったジュースなどを販売する「手づくりの家とまと」を設立。2000年のマラウイ農業技術研修員受入から本年まで多数受入。

○白水信義 (しろず のぶよし)

果樹園経営者(現在は、長男に経営委譲)。明治時代に北海道開拓のために入植した屯田兵4代目。果樹組合会長として技術向上等に貢献。JICA 草の根技術協力事業農業専門家(マラウイ、モンゴル)として活躍。JICA 研修員受け入れ多数。滝川市在住。

○畠山寿一 (はたけやま じゅいち)

暑寒の森道づくり研究所所長、林野庁森の名手、北海道指導林家、尾瀬に次ぎ日本で2番目に広い高原型湿原「雨竜沼湿原」周辺の森林環境整備並びに環境教育等に従事。JICA 草の根技術協力事業農業専門家(モンゴル)として活躍。JICA 研修員受け入れ多数。雨竜町在住。

○高谷富士雄 (たかや ふじお)

JA 江部乙、JA たきかわ事務方トップとして勤務後、JA ピンネ(新十津川町)監事。滝川国際交流協会理事、JICA 草の根技術協力事業農業専門家(マラウイ、モンゴル)として活躍。農村地区の地域活性化活動にも尽力。JICA 研修員受け入れ多数。滝川市在住。

○江上充明 (えがみ みつあき)

一般社団法人滝川国際交流協会事務局長。滝川市役所農政関連部署に42年奉職、農業関連事業多数経験後、滝川国際交流協会勤務8年目。地域事情に精通。JICA 草の根技術協力事業農業専門家・プロジェクトマネージャー(マラウイ、モンゴル) JICA 研修員受け入れ多数。滝川市在住。滝川市在住。

○織田繁男 (おりた しげお)

ホテル三浦華園社長室長。大番頭として勤務45年。2000年に開始したマラウイ草の根技術協力事業から青年研修、課題別研修等、50か国以上の研修員等受け入れに協力。近年のインバウンドブームに至るまでの、外国人受入現場の実情をよく知る人物。新十津川町在住

○山内康裕 (やまうち やすひろ)

滝川市産業振興部観光国際課課長。一般社団法人滝川国際交流協会理事。公立中学校英語教諭、米国マサチューセッツ州スプリングフィールド市教育委員会日本語教諭、(社)北方圏センター(現:北海道国際交流・協力総合センター:HIECC)を経て、現職。JICA 草の根技術協力事業(マラウイ農業事業PM、カンボジア教育事業PM等)、研修員受入、総務省LGOTP事業受入他多数。

○運上琢諭 (うんじょう たくゆ)

滝川市産業振興部観光国際課課長補佐。社会教育主事。行政職員としてH28年4月からJICA事業はじめ各種国際関連事業に着手。地域おこし協力隊員と協力した事業展開も。北海道ソフトテニス連盟理事長として全国組織にも関与し、長年に渡りソフトテニスの普及に努め、国際普及にも邁進。滝川市在住。

○森田詠美 (もりた えみ)

一般社団法人滝川国際交流協会総務課長。様々な職歴を経て、これまで全く縁のなかった国際交流・国際協力業務に携わることとなり、6年目。財務全般を担当しつつ、事務局長補佐として協会運営に当たる。過日はUNDP駐日代表の随行・講演会も実施した。滝川市在住

○エンバヤル・ソロンゴ (愛称:ソコさん)

滝川市産業振興部観光国際課国際交流員(CIR)。大学卒業後、民間企業で日系企業サポート業務を3年間、在モンゴル日本大使館にプロジェクト専門員として3年間勤務後、日本国JETプログラムのCIR着任。

総務省 LGTOP 事業（モンゴル国農業技術支援）を担当。滝川市在住